

美の探究 陶磁器の魅力

—ヨーロッパの陶磁器から知る、もう1つの美術—

11/26(土)

14:00～15:30



講師

ドッチア様式 (イタリア) 磁器装飾家

笠原 知子

私たちが何気なく手にしている器は、生活に身近で、五感に響く、心に響くアートです。近年、このように愛でる楽しみ方が、日本でも少しずつ、認知されてきたように感じています。そこで、「よく分かっていない。これから知りたい。」という方の入口として、フィレンツエの美術館所蔵の銘品 (主に 18～20 世紀)、名窯の製造・絵付工程をご紹介します。起源から現代まで、人の心を魅了してやまない、機能美と装飾美が同居した世界を、お伝えします。



対象 高校生以上

※大田区在住在勤在学の方

定員 20名

会場 洗足区民センター

申込 事前申し込み制・先着順

10月31日(月)9時より

窓口または電話にて受け付けます

講師紹介

笠原 知子 (かさはら ともこ)

成城大学文芸学部芸術学科卒業 (西洋美術史専攻)、学芸員資格保持。2004年にイタリアフィレンツエに渡り、06年に「GINORI 1735」の手描絵付装飾部門に、日本人初の内定を受ける。その後、イタリアと日本を行き来しながら、個人や企業からの注文制作を主な仕事とし、コンサルティングや、レッスンも行っている。現在は、ホリスティックアロマセラピストとしても活動。お客様の安らぎやハッピーに寄り添いながら、「くらしのアート」を広めている。アトリエ&教室 ピアットスカーナ



お問い合わせ・申込先
洗足区民センター

〒145-0064 大田区上池台2-35-2 TEL 03 (3727) 1461